

神奈川大学 産学連携事業「本の架け橋プロジェクト」のみなさま

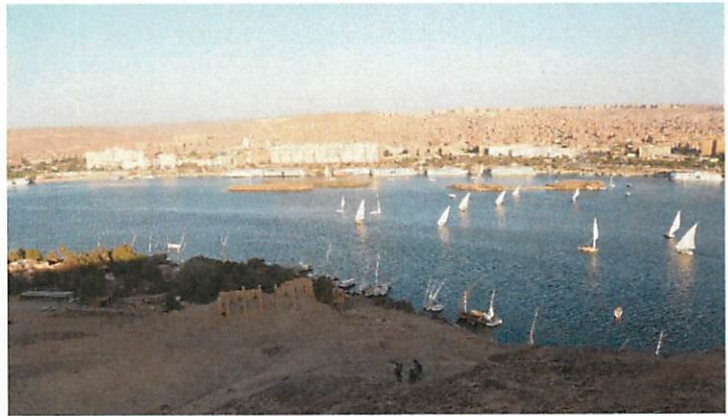
こんにちは。エジプトに日本語教師として派遣されている曾我です。

今回は世界の笑顔のためにプログラムを通して、アスワン大学日本語学科に現代小説を提供していただきありがとうございます。

はじめに、わたしの任地について紹介させていただきます。

わたしが派遣されている国は、北アフリカにあるエジプトという国です。わたしはエジプトの中でも1番南にあるアスワンという町の大学で日本語を教えています。アスワンは首都のカイロから約 800 km 離れており、飛行機で1時間半、電車だと15時間かかる場所にあります。

エジプトといえば遺跡！砂漠！ピラミッド！！と思われる方が多いと思いますが、アスワンはナイル川の上流にあたり、川がとてもきれいで、そこに浮かぶファルーカという帆船が、わたしの一押しです！夏は50度近い気温になるアスワンですが、船の上は涼しく、風を感じながら船の上でゆっくり過ごす時間はとても特別で私のお気に入りです。



次に私が派遣されているアスワン大学について紹介します。



エジプト最南端、アスワンという町の砂漠の中に立つ国立大学に日本語学科があります。

現在 60 名程度学生たちと一緒に日本語を勉強しています。授業は文法や会話の授業をメインに各学年週4回から2回の授業が行われています。

学生たちの様子↓



日本語の授業以外にも毎年4月に行われる Japan Day というイベントがあり、そこでは折り紙や浴衣の体験、お寿司などの日本食コーナーなどもあり、アスワン大学に来ているほかの学生たちに日本の文化を教えるという日になっています。そこに向けて、日本の文化について調べたり、体験したりすることも授業の時間を使って行っています。



今回頂いた小説は、アスワン大学の図書館に寄贈し、学生たちが自由に読めるようにしたいと考えております。アスワン大学日本語学科は、言語学部の中の一つの学部ということで、アラビア語から日本語、日本語からアラビア語の翻訳と日本の文学について学ぶ授業があります。しかし文学の授業で扱うのは少し古い文学が多く、現代小説にも触れてもらいたいと思い、今回このプロジェクトに応募させて頂きました。

現在、コロナウイルスの影響でエジプトの大学は休校中のため、まだどちらも学生に届けられておりません。大学再開後には、アスワン大学に寄贈し、学生たちの学びの選択肢の一つとして使わせて頂きたいと思っております。

最後になりますが、活動の中でアスワン大学のニュースレターを作っていました。そちらも一緒に送らせていただきます。Japan Day やほかのイベントの様子、学生たちの様子がわかるものになっていますのでぜひご覧になってください。



ご提供ありがとうございました。

これからもアスワン大学日本語学科の応援をよろしく申し上げます！！



アスワン大学 言語学部 日本語学科

News May 1, 2019 Letter^{Vol.1}



2019.04.07-08 JapanDay

ご挨拶

青年海外協力隊 アスワン大学日本語教師 鎌形夏光

アスワンに来て1年、お風呂にカビが生えないことに感動します。アスワン大学日本語学科講師の鎌形です。協力隊の前は日本でネパール人やウズベキスタン人に日本語を教えていました。同じ日本語を教えても、その国の文化や言葉の仕組みがあらわれてくるのが言語教育の魅力です。エジプトで同じように日本語を教えても、学生がつくる日本語はどこか違和感があり、それでいてとても不思議な面白さがあるんです。カイロとも違うアスワンならではの魅力を日本語教育とともにお届けしていきます。



青年海外協力隊 アスワン大学日本語教師 曾我佳花

青年海外協力隊で2019年の2月からアスワン大学日本語学科に派遣されている曾我です。ここに来る前はフィリピンで日本語教師として働いていました。エジプトではいろいろな人に日本語の魅力やおもしろさを伝えられるような活動していきたいと思えます！アスワン大学では日本語だけではなく、日本語を使っのコミュニケーションや日本の文化を学ぶ機会を作り、様々な体験を通して柔軟な考えができる学生になってほしいと考えています。学生たちと一緒に私も成長できるように頑張ります！



Japan Day 2019 新時代



4月7日および8日にアスワン大学にてJapanDayが開催されました。

1日目は大学の大きなステージで、学生たちがダンスや歌などを披露しました。その中でも巨大羽子板は圧巻で、日本国大使館の大使ご夫妻が学生らとともに羽子板を打つ場面では会場が大いに沸きました。2日目は会場を外にうつし、すべての学生・先生・外部の方に門戸を開いた体験型文化イベントを行いました。すしや折り紙、書道の体験のほか、和太鼓・ソーラン節の野外演奏など1日目以上の盛り上がりを見せました。

日本の新元号『令和』の発表に伴い行われた今回のJapanDay～新時代～は、まさしくアスワン大学日本語学科のこれからを変える大きなイベントとなり、次の時代へと移り変わっていく転機となりました。



アスワン大学 言語学部 日本語学科

編集・発行 / アスワン大学言語学部日本語学科

内容に関するお問い合わせ

TEL. 0109 717 9863 (鎌形)

MAIL. aswanu.japanese.ouen@gmail.com

FACEBOOKも更新中!! ページ名「AJS」で検索!! ▶





アスワン大学 言語学部 日本語学科

News September 1, 2019 Letter Vol. 2



日本語学科初のアシスタント

アスワン大学日本語学科アシスタント ナディア



アスワン出身のナディアです。2017年にこの学科を卒業し、2018年1月から助手を務めています。今はカイロ大学文学部日本語学科で修士の勉強をしています。趣味はサッカーと映画/音楽鑑賞で、甘いものが大好きです。いつか日本に行って修士と博士を取りたいです。

アスワン大学日本語学科アシスタント マフムード



アシスタントのマフムードです。南エジプトにあるナグハマーデーという町の出身です。2013年9月から4年間日本語を学習しました。2017年6月に日本語学科を卒業し、2018年12月から日本語のアシスタントとして働いています。

アシスタントに聞いてみた！

Q1. アシスタントをしていて楽しいこと

(ナ：ナディア、マ：マフムード)

ナ：文法を教えること。

マ：学生に日本語の授業をすること。

Q2. 大変なこと

ナ：日本語の授業をしながら、修士の勉強や奨学金の仕事をする。

マ：学生の試験準備とさまざまなイベント準備。

Q3. 今後の目標

ナ：日本で修士の勉強をつづけて修士をとりたい。

マ：将来日本語学科長になりたい。

Q4. 学生たちにしてあげたいこと

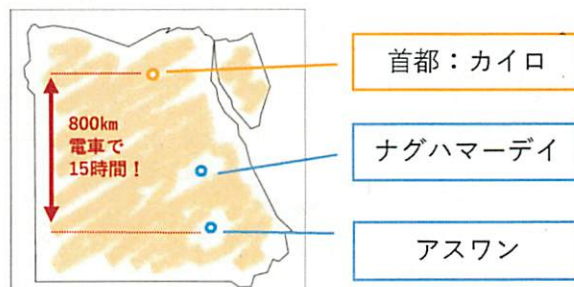
ナ：私より日本語が上手になってほしい。

マ：日本に留学できるレベルになるまで、一生懸命学生に日本語を教えること。

Q5. 日本語を勉強する理由

ナ：幼いころからアニメが大好きだったから。

マ：子どもの頃から日本のアニメに夢中だった。どうしてもアラビア語を見ずに、アニメキャラクターが話している言葉が分かりたかった。



アシスタントのお仕事って？

主に、

- 授業・日本人教師の授業見学
- 学内外のイベント・留学手続き・試験監督
- 修士/博士の勉強

ナ：大学には日本語の先生が少ないので、カイロで1週間修士の勉強をして、それからアスワンに帰って授業をすることを繰り返していました。助手になったときから、アスワン大学の日本語教育をエジプトで最高のものにしたいという夢があります。

マ：日本人の先生達にどのように授業をするかを習うのがメインです。先生の授業を見て少しずつ教える経験を身につけます。修士号と博士号を取るまで進学しなければならないので、一生懸命勉強もします。



アスワン大学 言語学部 日本語学科

編集・発行 / アスワン大学言語学部日本語学科

内容に関するお問い合わせ

TEL. 0109 717 9863 (鎌形)

MAIL. aswanu.japanese.ouen@gmail.com

FACEBOOKも更新中!! ページ名「AJS」で検索!! ▶





アスワン大学 言語学部 日本語学科

News November 1, 2019 Letter^{Vol. 3}



日本への留学特集

今年大阪大学から帰国した
アスワン大学日本語学科4年
アリー



出身はソハーグですが、子供の頃から今までアスワンに住んでおります。言語を習うのが大好きで、日本語もスペイン語も英語も習っております。

現在広島大学へ留学中
アスワン大学日本語学科3年
アフマド



出身はブヘイラです。趣味は旅行、ホラー映画、スポーツです。アスワンの寮で卓球をしています。外国語をならうことが好きです。

アリーさんにQ&A

Q1. 日本で楽しかったこと・大変だったこと
一番楽しかったことは大学の部活。
方言を理解するのが大変だった。

Q2. 日本とエジプトを比べてどう思う？
一般的な比較は意味がないと思う。エジプトは今の調子でも、好きな人が沢山いる。一方で、世界中で有名な日本は、ある人によっては我慢できないところがたくさんあるかもしれないが、日本が悪い国というわけではない。

エジプトに取り入れたいこと
Job Hunting

日本に取り入れたいこと
エジプトは子供が大好き。日本人に子供が好きになって欲しい。

アリーさんが感じた日本

不思議な日本 “どうして沖縄？”

沖縄では自然災害が沢山あるのに、そこで働きたい日本人が多い。
それがわたしにとって不思議で仕方ない。

アフマドさんにQ&A

Q1. 日本で何をしたい？
北海道の雪まつりに行きたい。

Q2. 心配なことはなに？
日本の交通ルール。右と左がちがうから心配。

Q3. エジプトから絶対持っていきたいものは？
チーズ。日本にはそんなに種類がないと聞いたから。

Q4. 日本に行くために努力したことは？
日本人とインターネットで友だちになって、できるだけ日本語で話していた。

Q5. みんなへ一言アドバイス
いつも日本について調べてください。自分がそうしなかったから。

驚くべき日本 “電車での居眠り”

日本人は電車で居眠りするのが上手。電車で寝ていても、降りる駅に着いたら急に起きて、降りる。日本人がどうやってわかるか、私はわからない。それは日本人のsuperpowerだ。



アスワン大学 言語学部 日本語学科

編集・発行 / アスワン大学言語学部日本語学科

内容に関するお問い合わせ

TEL. 0109 717 9863 (鎌形)

MAIL. aswanu.japanese.ouen@gmail.com

FACEBOOKも更新中!! ページ名「AJS」で検索!! ▶





アスワン大学 言語学部 日本語学科

News December 1, 2019 Letter^{Vol.} 4



ASWAN UNIVERSITY SPEECH CONCERT

NOVEMBER 14TH, 2019 THURSDAY



<スピーチ部門>

- 新1年生 30秒スピーチ「私の好きなフレーズ」
- インターン部門「自己PR」
- 日本行チケット部門「日本に行きたい理由」

2019年11月14日(木)、アスワン大学で初の日本語スピーチコンテストが開催されました。このコンテストには日本大使館、国際交流基金、JICA、および旅行会社スカイリンクトラベルの方々が審査員として参加されました。

このコンテストでは3つの「初めて」がありました。アスワン大学が主催であること、コンテストを1から作り上げたこと、そして旅行会社との連携。

「アスワンにしかないものを作りたい」

そうした教師と学生の想いとたくさんの方の支援が形になり開催することができました。

今回日本行の往復航空券は1名分、インターンシップはスカイリンクトラベル代表取締役の方のご厚意で2名分準備することができました。

来年から受賞者たちは新しいステップへ。自分たちが学んできたことが社会で活かせる、そんな経験をしてもらいたいと思っています。

スピーチコンテストの結果

日本行チケット部門優勝者
4年ハーティム



心は喜びに弾みました！優勝の発表はとても長く、その間私が選ばれない理由を探していました。カプセルホテルのアイデアに負けるかな、時間は大丈夫だったかなとぐるぐるしてしまいました。自分の名前を聞いて、あれほど嬉しいことはなかったと思います。

日本では、教育や産業・経済など、日本の色々な社会的なことを習ってエジプト社会に伝えたいと思っています。

<受賞者>

- インターン部門
優勝：3年バスマ
準優勝：3年イスラー
- 日本行チケット部門
優勝：4年ハーティム
準優勝：4年アフマド



👉 学生のスピーチはこちらからご覧いただけます。



アスワン大学 言語学部 日本語学科

編集・発行 / アスワン大学言語学部日本語学科

内容に関するお問い合わせ
TEL. 0109 717 9863 (鎌形)

MAIL. aswanu.japanese.ouen@gmail.com

FACEBOOKも更新中!! ページ名「AJS」で検索!! ▶

